

## 準動詞の特徴

準動詞の特徴

- ① まえに( )を伴うことができる。
- ② うしろに( )を伴うことができる。

## 分詞の定義

動詞が語形変化（現在分詞 or 過去分詞）して文中で( )として働く品詞を分詞と呼ぶ。

- ✓ 現在分詞 = <動詞の原形 + ( )>  
( )の意味を成し「～している」「～する」と訳される。
- ✓ 過去分詞 = <動詞の原形 + ( )>  
原則、( )の意味を成し、「～された」「～されている」と訳される。

## 形容詞の限定用法と叙述用法

[限定用法 = ( )を( )または( )から修飾する。]  
[叙述用法 = 文中で( )の役割を担う。]

### 形容詞（限定用法）

#### ① 前置修飾

- ( ) flowers 「有名な花」  
the ( ) treatment 「効果的な治療」  
a ( ) life 「多忙な生活」

#### ② 後置修飾

- ✓ 語尾が( ), ( ), ( )の代名詞を修飾するとき  
( ) nice 「なにかすてきなもの」  
( ) nice 「だれかすてきな人」  
Recycling is ( ) new. 「リサイクルは今に始まったことではない。」
- ✓ 形容詞の直後に( )がつくとき  
flowers ( ) ( ) Japanese people 「日本人のあいだで有名な花」  
the treatment ( ) ( ) acne 「にきびに効く治療」

### 形容詞（叙述用法）

#### ① SVC

外は寒い。

ケンとトムは独身のままだった。(remain を用いて)

体を冷やさないでね。(keep を用いて)

彼は空腹時に怒る。(get を用いて)

② SVOC

彼は私を激怒させた。

窓を閉じたままにしといてね。

ドアを開けっぱなしにしないで。

**分詞の限定用法と叙述用法**

**分詞 (限定用法)**

① 前置修飾

意味上Sは( )である。

the ( ) student 「勉強している生徒」

the ( ) boy 「座っている少年」

his ( ) laptop 「彼の壊れたノートパソコン」

( ) books 「古本」

② 後置修飾 — 分詞のうしろに( )が来る場合は、名詞を後置修飾する。

意味上Sは( )である。

the ( ) ( ) ( ) 「不安を覚えている生徒」

the ( ) ( ) physics 「物理を勉強している生徒」

the ( ) ( ) in the car accident 「その自動車事故で亡くなった少年」

The ( ) ( ) from the window is beautiful. 「窓から見る夕焼けが美しい。」

the student ( ) ( ) ( ) 「良い助言を受けた学生」

a ( ) ( ) ( ) 「Oscar と呼ばれるネコ」

## 分詞 (叙述用法)

## ① SVC

そのニュースを聴いて心底驚いた。

I ( ) deeply ( ) ( ) the news.

そのニュースは驚くべきものだった。

The news ( ) ( ).

一晩中、雪が降り続けた。

ミシェルはその計画について考え続けた。

Michelle ( ) ( ) over the ( ).

その山で迷子にならないようにね。

Try not to get ( ) on the ( ).

## ② SVOC

その知らせを聞いて彼女はわくわくした。

The ( ) ( ) her ( ).

学習が好きなので、勉強し続けられる。

My love for ( ) ( ) me ( ).

部屋に施錠をしておいてください。

Please (l ( ) the room ( ).

鍵が無くなっているのに気づいた。

I have found my ( ) ( ).

ソファにネコが横になっているのが見えた。

赤ちゃんが泣いているのが聞こえた。

自分の名前が呼ばれるのが聞こえた。

英語で自分の言うことを理解してもらえなかった。

人混みの中で自分の声を届けられなかった。

**注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞**

**注意すべき動詞**

彼の考えは私を困惑させた。

His idea

私をがっかりさせないで。

Don't

私を最も満足させるものは寿司です。

What

その退屈な講義は私を疲れさせた。

The

**注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞**

そのパスタは驚くほど美味しかった。

The pasta was (a \_\_\_\_\_).

彼は息子に起きたことに驚いている。

He is (a \_\_\_\_\_) ( \_\_\_\_\_ ) what has happened to his son.

その映画は退屈だった。

The movie

ミシェルは宿題に退屈している。

Michelle is

大学院への出願は紛らわしいかもしれない。

Applying to

私は健康保険についてわけがわからない。

I'm

彼の死にがっかりした。

His death

私は彼の死にがっかりした。

I was

今週金曜日に何かおもしろいことがしたい。

I want to do something (e ) this Friday.

授業中、子供たちはとても興奮していたので、私は授業後に彼らを叱った。

The kids were so (e ) during class (that) I ( ) them ( ) after class.

心理学は面白い分野です。

Psychology is

心理学の分野に関心を持つ人を探しています。

### 注意すべき動詞の現在分詞と過去分詞の区別

彼女のテスト結果にがっかりした。

The test result was

私は彼女の態度にがっかりした。

I was

彼女のテスト結果に私はがっかりした。

I found

私は彼女がそのように話すのを聞いて自分自身ががっかりしていることに気づいた。

I found myself

私はその残念なテスト結果について忘れたい。

その落胆している生徒は私の言うことを聞こうとしなかった。

その野球の試合は面白かった。(excite を適切な形にして用いること)

The baseball game was

その少年は京都に行くことに胸を膨らませているようだ。(excite を適切な形にして用いること)

The boy

あなたは何に胸が躍(おど)りますか。(excite を適切な形にして用いること)

What makes

都会の生活をより面白いものにするのは何だろうか。(excite を適切な形にして用いること)

What will make

京都に行くことに胸を膨らませているその少年はスポーツを観ることが好きだ。(excite を適切な形にして用いること)

The boy

英語で書かれた小説を読むことが面白いと思った。(interest を適切な形にして用いること)

I found

その先生のおかげで理科に関心を持ってられる。(interest を適切な形にして用いること)

The teacher keeps

びっくりするニュースを聞いた。(surprise を適切な形にして用いること)

I have got

その映画の終わりに彼は驚いているようにみえた。(surprise を適切な形にして用いること)

He

そのすらりとした女の子はいつも心配そうだ。

The slender girl

**分詞構文****分詞構文の定義**

分詞構文とは主節の( )に情報を加える分詞句で、【付帯状況】・【理由】・【時】(・【条件】・【譲歩】)などの意味を成す。また原則、<分詞句>は<( )+SV>で言い換え可能

**分詞構文を用いるメリット**

- |                     |
|---------------------|
| 1.( )を省略することができる    |
| 2.( )を避けることができる     |
| ⇒ 簡潔に情報を伝達することができる。 |

**分詞構文【付帯状況】**

《基本パターン》同時「～しながら」

子供たちの多くが夕食をとりながらテレビを観る。

《応用パターン》連続「…して、それから～」

ハチがどこからともなく突如現れ、私の腕を刺した。(2文)

**分詞構文【理由】**

彼女は内気すぎたので、解雇された。(2文)

**分詞構文【時】**

駅で待っているときに彼女はナンパされた。(2文)

**分詞構文【条件】**

飛行機から見ると、その島々はとても魅力的だった。(2文)

《応用》原則、慣用表現を除いて、分詞構文の直前に if や unless が置かれる。

もしメールのパスワードを変更するなら、忘れずそれを紙の切れ端に書き留めておきなさい。(2文)

### 分詞構文【譲歩】

小説を読むことは疲れるが、語彙を増やしたり想像力を鍛えたりすることに役立つ。(2文)

### 否定の分詞構文

彼には彼女がいないから、今年のクリスマスは一人で過ごすことになるだろう。(2文)

何をすべきか分からなかったので、警察に電話した。(2文)

### 完了形の分詞構文

分詞構文の内容が主節の内容よりも( )のときに用いられる。

宿題を終えた後、外出した。(2文)

犠牲者は無残な殺され方をしたので、ひどい見た目だ。(2文)

## 分詞構文の位置

1. 主節の前
2. 主節の後
3. 主語の直後(この位置に来る分詞構文は入試では応用だ。だが分詞構文とはそもそも主節の主語に情報を加える分詞句なのだから、主語の直後に置くことで読者の理解を容易にすることも多く、この用法は論文では多用される。)

六甲山に登るのは疲れるがおすすめた。

その学生は何をすべきか分からなかったので勉強し続けた。

## 独立分詞構文

分詞の( )と主節の( )が一致しないときに用いられる。

Risa と Kaho は親切なので、誰もが彼女たちを信用している。(2文)

渋滞があったので、スターバックスに車を寄せることを決めた。

( ) ( ) a traffic jam ahead of me, I decided to ( )  
 ( ) at Starbucks.  
 =( ) ( ) ( ) a traffic jam ahead of me, I decided to  
 ( ) ( ) at Starbucks.

## the + 形容詞, the + 分詞

貧しい人々 _____	裕福な人々 _____
日本人 _____	失業者 _____
負傷者 _____	故人 _____
次のもの _____	

我々は予期しないことを処理しなければならない。

\_\_\_\_\_

**with+O+C****with+O+C**

with+O+C で<付帯状況>または<理由>を表し、それぞれ「OがCの状態」「OがCなので」と訳される。この場合、Cの位置にくるのは<形容詞>や<形容詞に相当するもの(分詞、前置詞句など)>だ。

**with+O+形容詞**

その少年は口を開けたまま眠る。

口に物をいれたまま話すべきでない。

It's not nice to

物価が信じられないほど高いので、昼食をとる余裕がない。

With ( ) incredibly ( ), I ( ) ( ) to eat lunch.

アジアでは、日本の経済水準よりかなり低い経済水準のタイとフィリピンだけがトップ10に食い込んだ。

In Asia, only Thailand and the Philippines, ( ) economic levels significantly ( ) than Japan's, broke into the top 10.

靴を履いたまま部屋に入っただけいけないと言ったじゃない!

帽子を外して外にいちやだめだよ。

**with+O+分詞**

Yuta は足を組んで座っている。

彼は片手で目を覆って立っていた。

He stood \_\_\_\_\_.

彼は腕を組んだままソファに横になり、間もなく眠りについた。

He \_\_\_\_\_ and soon fell asleep.

ほおに涙を流しながら、Rino は部屋を後にした。

Rino

血圧が下がり、彼の容体はますます悪くなっている。

His condition is getting worse and worse

夜明けが近づいているので、娘に学校に行く準備をさせる必要がある。

With ( ) ( ), I need to get my daughter ( ) for school.

ノートパソコンが両方とも故障していたので、新しいものを購入した。

With ( ) the laptops ( ), I ( ) a new one.

### with+O+前置詞句

その患者は椅子の背もたれの上に肘をつきながら立っていた。

The patient was ( ) with her ( ) ( ) the back of a chair.

犯罪が増加傾向にあるので、母親たちは子供を守るように注意するようになっている。

With ( ) ( ) the ( ), mothers are becoming ( ) to ( ) their children safe.

言うまでもなくその政党は 4, 5 人に支配されていて、他の全党員が彼らの言いなりになっている。

The party is clearly controlled by four or five men, ( ) everyone else ( ) their ( ).

ゆえにスペインは失業率がおよそ 27% で混乱している状況だが、ドイツが最近の危機を生き残ったことは当然だ。

So it's not surprising that Germany has survived the recent crisis..., while Spain is a mess, ( ) unemployment ( ) roughly 27 percent.

### with+O+to 不定詞

with+O+C の位置に to 不定詞がくる場合もあり、その場合は必ず<理由>を表す。

20 世紀の最初 10 年の間にヘラジカはこのミシガン州の島に現れたが、本土から泳いできたことは明白だ。それら(=ヘラジカ)と争う捕食者がいないので、ヘラジカの数は一急上昇し、食べ物を求めて島の植物を食べ荒らした。

Moose first appeared on this Michigan island in the first decade of the 20th century, apparently by swimming from the mainland. With \_\_\_\_\_, the moose population surged and devastated the island's vegetation in search of food.

## 独立分詞構文の定型表現

優人の年齢を考慮すると、彼はとても行儀が良い。

Yuto ( ) very well (c ) his age.

優人の年齢を考慮すると、彼は背が高い。

Yuto is tall (g ) his age.

根気強く勉強していることを考慮すると、亮は間違いなく第一志望の大学に入るだろう。

Ryo will surely ( ) ( ) his first choice of university, (g ) that he has studied strenuously.

声が震えていることを考慮すると、彼は緊張しているに違いない。

(S ) that his voice is ( ), he must be (t ).

率直に言って、あなたの作品が好きです。

( ) ( ), I'm ( ) of your works.

厳密にいうと、19歳の学生は大人とみなされない。

( ) ( ), a 19-year-old student is not ( ) an adult.

一般的に言って、良き教師は生徒よりもずっと賢い。

( ) ( ), good teachers are (f ) smarter than their students.

Facebook と言えば、僕はそれをほとんど使わない。

(S ) ( ) Facebook, I ( ) use it.

彼の外見から判断するに日本出身じゃないね。

( ) ( ) his ( ), he isn't from Japan.

もし A という国が B という国よりも安全ならば、大多数の人が A という国に住むことを望むだろう。

(S ) that country A is safer than country B, a (m ) of people will hope to live in country A.

もし仕事の申し込みと関係していれば、ボランティア活動を職歴として使うことができます。

You can use volunteer (w ) as work experience, (p ) that it is related to the job application.